

オープンキャンパスの模擬講義

8月1日（土）

茂木 眞希雄 准教授 「生化学・代謝入門」

講義内容：

生化学は生命現象を分子のレベルで説明しようとする学問です。その中でも、＜代謝＞は細胞という小宇宙の中で繰り広げられる複雑でダイナミックな化学反応です。代謝の根幹となる反応は細胞の生命活動の維持に必要なエネルギー、すなわち ATP の継続的産生であり、細胞材料（膜など）の構築、筋収縮や細胞運動などに利用されています。薬学部の学生は、健康、病態、栄養、薬の作用を理解する上で、生命の基本である代謝の基本知識を必須としていますので、代謝の入門編である消化を中心に分かり易く講義したいと思います。

8月2日（日）

横沢 英良 教授 「生命現象のしくみとくすり」

講義内容：

内容紹介文：生命現象の最前線で働いているのが、タンパク質です。タンパク質は、遺伝子から翻訳（生合成）されて、生命現象の最前線で働き、そして、その寿命にしたがって分解されます。それゆえ、生命現象はタンパク質の生合成と分解のバランスの上に成り立っているといえます。「タンパク質の一生」を題材にして、その「しくみ」、その破綻としての病気、そして、その病気に対する「くすり」について考えてみたいと思います。